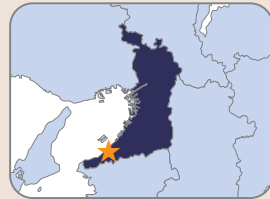


# 予防の知識を現場に活かせ！ ～現場隊員特化型の予防教育 プログラム～



## 大阪府 泉州南広域消防本部

事例類型 V 人材育成／Ⅷ その他

取組期間 令和4年1月から

### 背景

当消防本部では、消防学校初任教育を修業した新人職員のほとんどが現場経験を積むため警防要員として配置され、初任教育で予防科目を履修はしているものの、数年経つと専門性の高い予防業務への忌避意識が強くなる傾向がある。

現場活動では予防の知識を要する場面が多いにもかかわらず、予防未経験の現場隊員に対する予防教育が十分ではなく、以前より現場隊員からは「消火活動上必要な施設」を含む消防用設備等の使用方法、誤作動・誤操作対応等現場での応急対応、危険物災害の対応等についての研修を望む声が多かった。

上記の現場隊員のニーズに応えるべく考えた結果、専門的で難解な予防知識を現場隊員にそのまま詰め込むのではなく、現場活動に役立つ予防知識として発信していく『現場隊員特化型の予防教育プログラム』を開始した。

### 内容

#### 1 消防用設備等活用マニュアル（現場隊員用）の作成

現場隊員から特に要望が多かった消防用設備等の教育については、一度限りの集合研修で終わらせるのではなく、現場隊員の共通知識として継続して活用でき、次世代への伝承の礎となるよう、現場隊員用の「消防用設備等活用マニュアル」を警備課とタイアップして作成した。

マニュアルでは隊員が火災現場で使用する「消火活動上必要な施設」を含めた各種消防用設備等の他、水圧解錠式シャッターや非常用エレベーター等、計23設備を掲載し各操作方法、復旧方法等についてそれぞれ画像や動画QRコード付きで説明しつつ、隊員目線での現場活動時における注意点や豆知識を随所に盛り込んだ。

また、マニュアルの作成過程で得た映像資料等のさらなる活用方法として、設備操作の職員向け動画を並行して制作し、職員共有サーバーを通じて全職員が必要な時に必要な映像資料を視聴できるオンデマンド型の配信を行った。



職員向け動画（連結送水管）

#### 2 危険物火災・不明危険物の初動対応シートの作成

危険物火災で現場隊員が判断に苦慮する各危険物に応じた資器材の選定や消火方法等が一目でわかるよう、「危険物火災対応シート」を作成し、さらに管内の関西国際空港で度々発生する海外貨物からの不明危険物の漏洩事案では、外国語表記の貨物外装ラベルにより内容物の特定が困難な場合があるため、SDSやイエローカード、国際規格のIMOラベル等の見方をまとめ、危険性の判断や活動方針の参考とする「不明危険物アプローチシート」についても作成した。

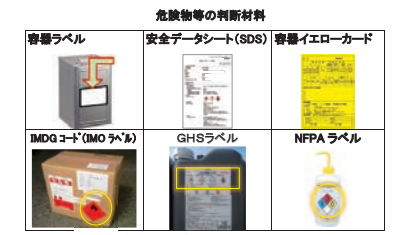


消防用設備等活用マニュアル（現場隊員用）

各シートは現場でもすぐにチェック！



危険物火災対応シート



不明危険物アプローチシート

それぞれのシートを有効活用するために指令センターと連携し、各消防車両に搭載している出動指令装置（AVM 端末）にデータを組み込み、出場途上や現場でも素早く閲覧できるようにし、先着出場隊員の安全管理など初動体制を支援した。

#### 3 現場活動に直結した新人への予防教育

新人職員が初任教育時にそれぞれの採用消防本部で行う所属研修では、以前は予防業務の説明や、初任教育予防科目の復習をメインとしていたが、修業後の現場活動を見据え「現場に役立つ予防知識」にシフトチェンジし、連結送水管や排煙設備、危険物・ガス漏洩事故の対応等について、座学だけでなく資器材の取扱いも行い、現場直結型の研修を行うことで予防の知識が「将来役に立つかもしれない知識」から「すぐに役に立つ知識」として認識させていくこととした。



現場直結型の新人研修

### 成果

本プログラムと並行して不明危険物の漏洩事故等、予防関係事案への支援出動や警防訓練時のプランニングにも参画する等、各方面からアプローチをした結果、予防要員と現場隊員の垣根を超え、予防課で企画する職員向け研修には予防担当だけでなく、普段警防業務に従事している職員の積極的な参加もみられるなど、組織内での予防業務に対する認識に明らかな変化を感じる。

また、若手職員も予防の知識に触れる機会が増えたことで予防業務を前向きに捉える意見が多くなり、以前はほぼ皆無であった予防係を希望する若手職員が増加するなど、予防業務にも良い影響をもたらしている。



各種災害での支援出動



職員研修（大型消火器取扱い）



予防係志望者も増加中！

### 特記事項

当消防本部では令和4年度より警防査察を開始したこともあり、予防の知識は多くの職員にとって必要不可欠なものとなりつつある。

従来の「予防要員の育成プログラム」に加えて今回のプログラムを推進し、各職員のニーズに応えていくことで職員全体に予防課の取り組みや目的が浸透し、予防係を志す若手職員の増加だけでなく、その先にある「組織全体を強くし、住民の生命、身体及び財産を災害から守る」ことに繋がることを目指していく。

#### 選考委員のコメント

現場活動に役立つ予防知識向上のため、消防用設備等の使用方法、誤作動・誤操作対応、危険物災害の対応等について「現場隊員特化型の予防教育プログラム」を開始し、そのマニュアルを作成した点、また、これを映像資料とし全職員が必要な時に視聴できるオンデマンド型の配信を行った点は先進的かつ全国の模範となる。